

広域ドッジビーコンペティション 関東大会(第5回)2021



大会報告書

2021年11月25日



日本ドッジビー協会

【大会の概要】

名 称	広域ドッジビーコンペティション 関東大会 2021
日 時	2021(令和3)年11月 6 日(土曜日) 10:00～19:00
場 所	駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場 〒154-0013 世田谷区駒沢公園 1-1 TEL03-3421-6199
主 催	一般社団法人日本ドッジビー協会
後 援	東京都 / 東京都障害者スポーツ協会 ※開催規模を縮小したため、開催要項より後援先は減りました。
協 賛	文化シャッター株式会社 ワタミ株式会社 株式会社ミカサ 株式会社クラブジュニア 有限会社イノーバー・ジャパン ※開催要項より協賛先は増えました。

【募集結果】

		募集数	申込数	成否
ディスクドッジ	1)ユニファイド部門	8チーム	4チーム	成立
	2)小学年低学年部門	4チーム	1チーム	不成立～調整願い
	3)小学年高学年部門	8チーム	3チーム	成立
	4)青年Mixの部	4チーム	0	不成立
ゴールドドッジ	5)小学年部門	4チーム	1チーム	不成立～辞退願い
	6)ミックス部門	8チーム	11チーム	成立～全チーム受入れ

【来場者数】 合計延べ人数＝ 270 名

選手競技者（別紙 参加チーム一覧表を参照）	＝187 名
同伴指導者／帯同者	＝ 50 名
スタッフ・関係者	＝ 33 名

【チーム対戦競技の組合せと競技方法】

① ディスクドッジユニファイド部門

4チーム ⇒ 総当りリーグ戦 全6試合

試合時間 : 3分 00 秒の前／後半 ハーフタイムは規定なし。

試合人数 : 1チーム10名、前／後半 試合中はメンバー交代なし。

勝敗決定 : 勝ち点制で順位を決定し、同点の場合、引き分け。

使用ディスク ~ ミカサモデル270

② ディスクドッジ小学生部門

3チーム ⇒ 総当り、リーグを2回対戦 全 6 試合

試合時間 : 各3分30秒の前／後半 ハーフタイム2分

試合人数 : 1チーム10名、前／後半の試合中はメンバー交代なし。

勝敗決定 : 勝ち点制で順位を決定し、同点の場合、引き分け。

使用ディスク ~ ミカサモデル250

※ディスクドッジ小学生低学年部門は成立せず、申込まれた該当チームに調整をお願いした経緯から今大会では高学年と低学年を統合して小学生部門と名称を変更した。

●ディスクドッジ審判員は協会認定資格所有者を主催者が招聘してお願いした。

●ディスクドッジの組合せ・競技方法は全体スケジュールを勘案してDBJAが決定。

●ディスクドッジ リーグ戦の順位は以下の優先順で決定。

1)勝点の大きいチーム

2)得失点(総得点数マイナス総失点数)の大きいチーム

3)総得点数の多いチーム

4)総失点数の少ないチーム

5)直接対決での勝利チーム

6)ディスクフリップをおこない、権利を得たチーム を上位とする

③ ゴールドドッジ ミックス

11チーム ⇒ トーナメント戦 全 18 試合

試合時間 : 各6分00秒の前／後半 ハーフタイム2分

試合人数 : 1チーム5名、試合中のメンバー交代は自由。

勝敗決定 : 同点の場合、PT戦で勝敗を決定。決勝戦のみ、延長戦を実施。

使用ディスク ~ ミカサモデル270

●ゴールドドッジ審判員は主審を全て協会メンバーが、一部、副審を資格者にお願いした。

●ゴールドドッジはチーム数の関係で変則な組合せとなるため、厳正な抽選で対戦を決定した

~ その様子を YouTube



LIVE DBJAで閲覧できるようにした。

【対戦結果】

●最終成績

ディスクドッジユニファイド部門	優 勝	ウイング多摩・稲城合同
	準優勝	ウイングまちだ成瀬
	第3位	ウイングなかはら
ディスクドッジ小学生部門	優 勝	大乱闘中Clover
	準優勝	ウエストシックス
	第3位	チャレンジファイターズ
ゴールドドッジ ミックス	優 勝	M. D. C
	準優勝	ちくちくハニー
	第3位	山葵eeLIGHT

- 全対戦結果は 別紙 ディスクドッジUnified部門 対戦結果表
 ディスクドッジ小学生部門 対戦結果表
 ゴールドドッジ ミックス 対戦結果表 をそれぞれ参照のこと。

【ドッジ-distances記録会／実施方法】

- 参加選手はディスクドッジ小学生部門の3チーム、ゴールドドッジ ミックスの11チーム、
合計14チームを対象に各チームから3名、最大42名として、あらかじめチーム内で選抜を
依頼、ただし辞退は自由としたところ、28名が参加した。

- 一人あたり1分以内に3投 ／ 最長飛距離のみ計測 ／ 横幅制限は20m

- ディスクは公式ミカサ230・250・270を主催者が用意、選手は3枚を自由に選択可能。

※その結果、日本記録の更新が以下の通り4件、うち1件は女子日本最高記録を更新した。

ドッジ-distances記録会 ～ 駒沢オリンピック公園総合運動場内、屋内球技場（横幅制限：20 ㍓）

中学3年生 男子	平田 真叶	東京都	32.19m	
中学3年生 女子	輿石 真緒	東京都	31.85m	<新・女子日本最高記録>
高校3年生 女子	輿石 菜緒	東京都	29.73m	
アダルト(18-30)女子	江川 藍未	東京都	29.80m	

後日、DBJA事務局より日本記録認定証を各自宅に送付済み。



【表 彰】

実施した各部門ともにすべて【優勝】／【準優勝】／【第三位】を表彰。

日本ドッチビー協会より表彰状を贈呈。副賞として文化シャッター株式会社様ご提供により優勝チームには、選手全員に金メダルを、準優勝チームには、表彰盾を、第三位チームに、表彰トロフィーを贈呈。さらに全入賞チームにワタミ株式会社様よりグループ共通500円分お食事券が人数分、株式会社ミカサ様よりチームに公式ドッチビーディスクが贈呈された。



なお、ゴールドドッチ ミックスはDBJA選考によりMVPと敢闘賞を選出して表彰、文化シャッター様よりQUOカードが副賞として贈呈された。

【参加賞】



文化シャッター株式会社様ご提供によるフリクションペンを、ワタミ株式会社様ご提供によるグループ共通割引券を、株式会社クラブジュニア／有限会社イノーバー・ジャパン共同でドッチビー・キーチェーンを、さらにDBJAよりトートバッグとDVDをそれぞれ人数分、贈呈した。

【大会記録・その他】

今大会では協会が設定した撮影専門スタッフによるプレー中の、ならびにチーム集合写真の、撮影をおこなって後日、大会参加者に向けてグーグルドライブを使用して期間を限定して写真の閲覧およびダウンロードできるサービスを実施。

YouTubeチャンネルを運営する映像チーム「d. ch」に当日の主要試合および全般の撮影を依頼、ダイジェスト映像ほか、編集した動画の公開(12/6までに)を予定。

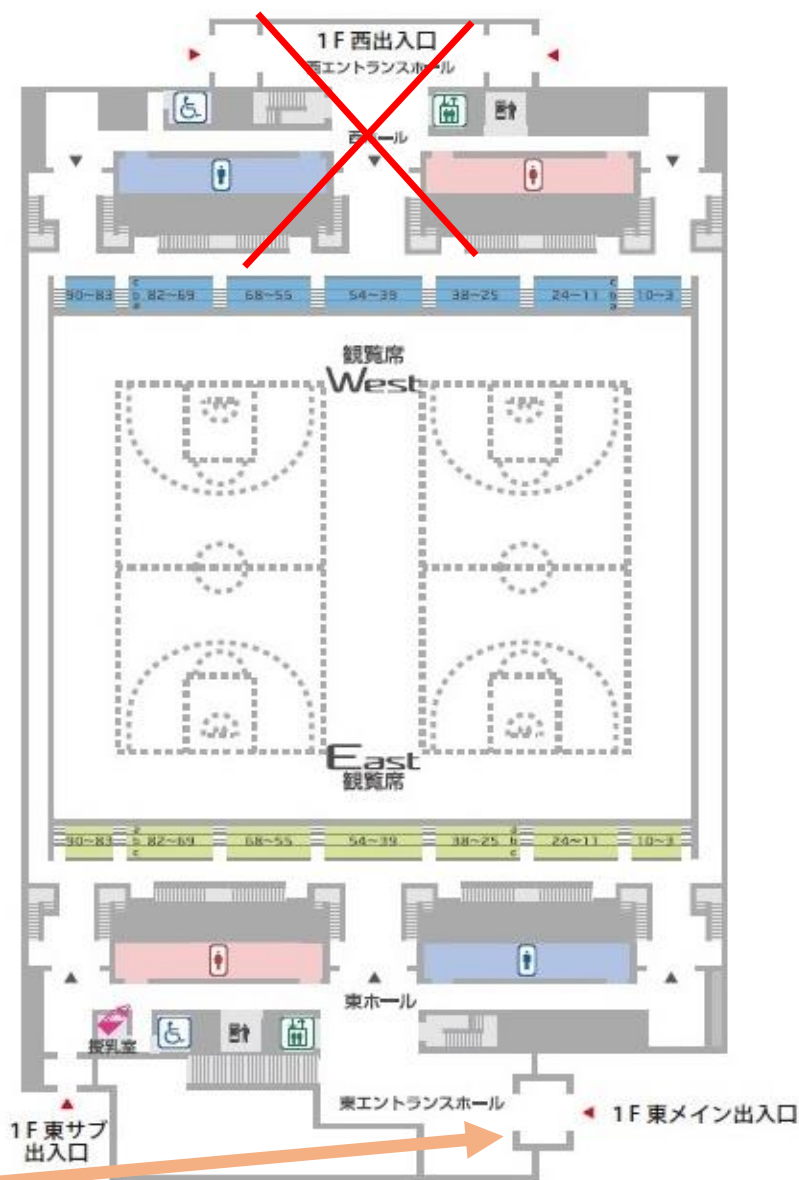


【Covid-19 対策事項】

●会場レイアウト・導線

入場者の入・退場を把握・管理するために観客席は東側のみを使用。

西側は西出入口も含めて全面使用不可とした。



●受付関係

入場者に対して手指の消毒／当日検温および事前検温の確認を漏れなく実施するために屋内球技場(大会会場)への入り口は東メイン入口1か所のみとして東エントランスホールに受付(本部)を設置した。

参加料の徴収については過去、少しでも余分な費用(手数料)を掛けないように当日の朝、受付で現金での徴収を基本としてきたが、今大会では事前の口座振込みでの支払いを基本として受付時間を短く、接触をできるだけ減らすことにした。



●全体進行

(別紙 タイムスケジュール進行結果表を参照ください)

今大会では密を回避する目的で部門ごとに集合時間と競技時間をずらして設定した。基本的に複数の部門が会場に同時に存在しないようなタイムスケジュールでおこなった。さらに基本、無観客として参加チーム帯同者は必要最低限としていただく協力依頼をした。



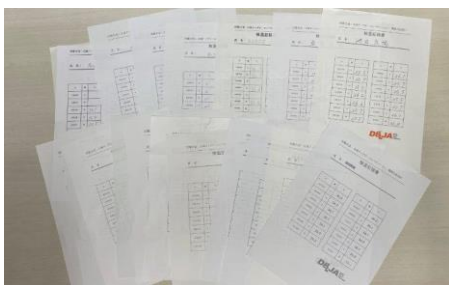
●セレモニーの実施回避

今大会では選手・スタッフが一同に会する開会式・閉会式ならびに表彰式など全てのセレモニー関係のプログラムはおこなわなかった。

●選手・スタッフの2週間前からの体調管理

(検温その他体調不良など)

選手については参加の条件として当日の朝、受付にて全チーム代表者に確実な実施の誓約を得た。またスタッフ・関係者については事前に記録用紙をメール送信し、当日に持参して提出してもらうことを求めた。



●大会終了2週間後までの間に感染者の発生があった場合、および感染が疑われる事象があったときには速やかな連絡をチーム代表者・スタッフおよび関係者に依頼したが2週間以上経過した11/22時点でそれらの報告はなく、今大会での感染者の確認はなかった。

【今大会を終えての所感】



2021年11月6日(土曜日)に駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場に於いて新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応として、主催大会の自粛をして以来、久しぶりの広域ドッジビーコンペティション関東大会(第5回)2021を開催いたしました。



前回の広域シリーズから数えると2019年の6月東海道大会以来となり、かれこれ2年半ぶり、150名以上が集う中規模以上の大会としては2019年12月ドッジビーフェスタ以来となり、それでも約2年が経過したことになりました。



この2年の間に今回の駒沢オリンピック公園や綾瀬の東京武道館で関東大会と銘打った大会を予定しましたが、3度にわたって中止せざるを得ないことになりましたが2020年3月に中止した大会では申込み受付がほぼ終了しており、18のチームから申込みがありました。しかし当時、既に新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、ヒアリングによって判明したところでは約10チームが申込みを回避した状況となっており当時の状況として、30チーム前後の参加が通常でした。

2年が経過した今大会では不動のメイン部門であった小学生ディスクドッジの申込みがわずかに3チーム、1/10となったことを冷静に捉えると、この中止期間中にどの地域でも練習などの活動がおこなえる状況になく、大会への参加意欲や理由がなくなり壊滅したものと痛切に感じており、今後、一からやり直す覚悟で、地域での活動にどんな支援ができるかを考えようと思います。



一方、ユニファイド部門が4チームの参加で成立したことは嬉しいことでした！終了後、参加者より、「楽しかった、また来たい」との声を聴き、久しぶりの充実感を覚えました。ユニファイドは社会ニーズも高く、各方面より期待するとのご意見を頂戴することが多くあり今後、DBJAとしてはメインに近い位置付けで取り組む所存でこの動きを止めることなく、さらなる普及に努めたいと思います。引き続き、皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。



さらにユニファイドに興味あり、スタッフとして従事したいとの申し入れが複数あり、嬉しい誤算でした。当初、準備期はスタッフの人数不足に頭を痛めました但本番は充実のスタッフでした。



この中止が続いた期間中に主催としておこなった活動がなかったわけではなく、ゴールドツチの大会を1回あたり概ね50名前後の人数制限の上、屋外施設のフットサルコートを、2面同時に使用してできるだけ短時間で終了する、極めてコストパフォーマンスが悪いことは承知のうえで、徹底的に密の回避を施した形態で小規模な大会を5回ほど実施してきました。

この効果なのかは定かではありませんが今大会のゴールドツチは8チーム募集のところ、11チームからの参加申込みをいただき、想定外の嬉しさと組合せの困惑さをしっかりと味わいました。



ゴールドツチへのエントリーチームの中身を見てもとディスクドッジ大会に出ていた小学生だった子たちが大学生になってチームを組んでゴールドツチに出てくる例があったり、全く初めてだけど面白そうなので地域の仲間に出場したチームなどが複数あり、大変、喜ばしいことでした。

ドッジディスタンスは時間の関係で参加各チームから3名を選抜という形態での記録会となりましたが、とてもビッグな更新記録尽くめとなりました。

中学3年生女子／奥石真緒さんの 31.85mは2014 年以来 7 年ぶりに女子日本最高記録も更新しました。



更新された今までの女子最高記録は今回、アダルト女子で更新した江川藍未さんが中学 1 年時に記録した 30.68mでアダルト女子の更新記録で自身の 7 冠目（すでに中1～高3まで全部門の記録保持）となるはずでしたが中学3年生女子の記録と日本最高記録を奥石さんが奪取する結果となりました。

さらに高校3年生女子／29.73m奥石菜緒さんは真緒さんのお姉さん！姉妹で江川さんの記録を更新したことで今回一つ更新したものの、江川さんのトータルは 5 冠となりました。

終了後の江川さん談話ではショック！とのことでしたが、それでも女子記録 5 冠は前人未踏の大記録であり、間違いなく称賛に価するものと思います。

今回、唯一の男子選手の記録は中学3年生／平田真叶くんによる久しぶりの32mオーバーとなるビッグスロー！！32over の記録は全 53 部門の中、7 つ目となります。さらに平田くんは自身 3 冠目となります。

ドッジディスタンスの記録は昨今、かなり研ぎ澄まされてきており、今後も目が離せない展開になると感じました。記録を更新した皆様には、心よりお祝い申し上げます。

ユニファイドディスタンスが参加チームの時間の都合で実施できなかったのは残念でした。

現在の全カテゴリー記録については「[ドッジディスタンス最新日本記録](#)」のページを参照ください。

今大会は約2年ぶりで準備段階から大会進行の感が鈍っており、迅速に行動できていないと感じることが多々あり、さらに主催者として駒沢オリンピック公園総合運動場を使用するのは初めてであり勝手のわからないところも多く、精神的疲労感を強く感じましたが本番、全てが終了したときの爽快感と充足感は何物にも代えがたく、また次の大会開催に向けて頑張ります。



令和4（2022）年10月に、また駒沢オリンピック公園 屋内球技場でお会いできればと思います。